



春夏秋冬

2021
vol.26
季刊発行

eco 情報



「羽生市プレミアム付商品券」
新型コロナウイルスに対応するため、地域経済の活性化を図ることを目的に発行されます。
使用期間は9月1日から令和4年1月31日商品券というスーパーや飲食店だけだと思われませんが、当社でも取扱店となっています。

リフォーム工事の時ぜひご利用ください。

ワンジャ 王家 サイカン 菜館

中田家の嫁、王さんが教える中国の家庭料理。ぜひ試してください。



file No.026 「大棗鶏肉湯」(鶏肉となつめのあっさりスープ)
棗は鉄分を多く含んでいます貧血の方は是非お試しください。



● 材料 (二人分)

- 鶏もも肉・・・250g
- 長ネギ・・・3分の1
- なつめ・・・4ケ
- 生姜・・・5g
- お湯・・・600ml
- 料理酒・・・大さじ1
- 塩・・・少々

● 作り方

- 1、長ネギ1cmの斜め切り。
- 2、生姜は3等分に切り。
- 3、鶏モモは1口の大きさに。
- 4、お湯を沸騰させ料理酒、生姜、鶏もも肉、なつめを入れ、中火で煮立ったら弱火にして30分、鶏もも肉に火が通ったら長ネギを入れ塩で味を調べて完成です。

編集後記

ウッドショックは、いまだに続いているため仕事の段取りが大変です。材料の値上がり、物が入らない。今日も給湯器メーカーからベトナムがロックダウンされたため部材の供給が遅れていますとの連絡が入りました。

ソーラーサーキットの家



発行：有限会社 小山建設
羽生市中央2-6-3 info@e-hous.co.jp
☎048-561-6878 編集長：中田 新一



● web もご覧ください
<http://www.e-hous.co.jp/>

「高齢化社会と住まい」

高齢化社会の最前列にいる日本には手本となる前例がありません。過去に学ぶわけにもいきません。住まいとして今、何ができるでしょうか。

● ベットと畳

10年位前まではベットにするので畳を板張りに変更してくださいと頼まれると抵抗なく板張りに直していましたが、今はベットを使用するお客様が80代でしたらベットから転倒することを危惧して、畳のほうがいいのではとアドバイスしています。畳は床板に比べクッション性がありますので、幼児や高齢者にとって優しい素材です。

● 引戸の勧め

住宅の玄関は防犯上の観点からドアが主流ですが、高齢者の車いす生活や介護を考えると引戸のほうが適しています。今は開口を広くとれる3枚戸もありますので、車いすを考えるとスロープ+引戸がよいかもしれません。あるお宅で大きなスロープを設置したらとてもやさしい景観の家になりました。



トイレのドアも夜間頻繁に利用することや介護を考えた時、引戸をお勧めします。介護認定を受けている方は補助金の対象にもなりますのでご相談ください。

● 温度差に注意

これから冬を迎えると家の中での温度差が気になります。夜トイレに行くとき、寝室とトイレと廊下ではかなり温度差がありますよね。廊下の窓にもカーテンを取り付けたり、トイレに暖房を入れたり配慮が必要です。家の中で温度差が一番大きいのは浴室です。寒い脱衣所で裸になって浴槽のお湯が40度だとすると温度差は30度くらいあります。これを毎日繰り返すわけですから高齢者には体への負担が大きくなります。脱衣所を温めるなどの対策が必要です。

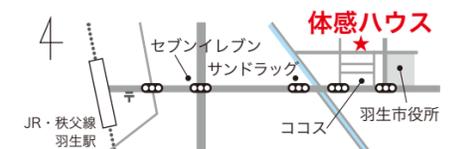
イベント報告

小山建設は夏涼しく冬温かい外断熱・二重通気工法「ソーラーサーキット」をおすすめしています！

夏の体感ハウスフェア

ご参加ありがとうございました。

天候不順とコロナ禍の中、お客様とお話しでき、うれしかったです。



羽生市東6-5-13 ☎048-563-1123

report OB 訪問

小山建設で建てられた住まいを訪問し、今の住み心地等をうかがいました。

今後より良い家づくりをするためのヒントを見つけたいと思います。



「四季の懐石 桜茶屋」

50年前に父と桜茶屋の先代と縁があり今に続くまで、ずっと仕事をいただいている。



門から母屋、離れ、茶室、新館と少しづつ手を加え、時々合わせた補修も行ってきた。

利用するお客様の高齢化に伴い、入口を3連引戸にして車いすが入りやすいようにしたり、茶室の脇にスロープを設置したり庭の飛び石も石面と同じ高さまで砂利を敷き詰め歩きやすく景観を損なわない範囲内で改修を行ってきた。



玄関ホールから客室までの廊下は、カーペットが敷かれていたがスリッパを、はかないで客室に入れるようにカーペットを薄畳に敷き替えた。今回は入口の門の土台が劣化してきたので、50年前の匠たちの気持ちに寄り添いながら土台の入れ替え作業を行った。



「地元・羽生市での取り組み」

「町内活動」

町内会活動も建設組合の活動も、コロナの影響で2年間ほぼストップしています。

町内会も1月の新年会、4月の総会、7月の夏祭り、10月の運動会と1年間絶え間なく交流の場がありました。子供から大人まで普段会えない人達とも祭りや運動会で一緒に世代を超えた交流が生まれました。

町内活動で唯一行っているのが町内で管理している公園の月に一度の草取りです。日曜の朝1時間程度ですが密を避けて近隣の人の情報交換やコロナの情報の話と、これはこれで楽しいものです。

早くコロナが終息して夏祭りや運動会が当たり前のように、できる日が来ることを祈るしかありません。



匠の道具

「ベンダー」

浅野工業の鉄板の切断機。手バサミでは長尺物の鉄板の切断は技術を要するが4mの鉄板まで一気に切断することができる。工場などの大型工事には、なくてはならない機械。

